

令和5年度第2回鹿児島市交通事業経営審議会

日時	令和5年11月1日(水) 15:00～16:30	会場	交通局3階 第2会議室
出席者	古川会長、小山委員(副会長)、松枝委員、江口委員、碓山委員、石田委員、奈良迫委員、下赤所委員(8名)		
市出席者	交通事業管理者、交通局次長(総合企画課長)、総務課長、経営課長、電車事業課長、バス事業課長		
会次第	1 開会 2 交通局長挨拶 3 報告 (1) 令和4年度鹿児島市交通事業特別会計決算の概要 (2) 令和5年度市電・市バス乗車実績等(4月～9月・速報) (3) 令和5年6月以降の主なトピックス 4 閉会		

会次第3-(1) 令和4年度鹿児島市交通事業特別会計決算の概要

発言者等	質疑・回答等
委員	経営計画の財政見通しや令和4年度予算との比較について、概略をご説明いただきたい。
事務局	経営計画の財政見通しは、令和3年度末に策定したことから、令和4年度当初予算と同額であり、令和4年度決算は計画と比べて、軌道事業については約4,000万円黒字が増加、バス事業については約1億3,000万円赤字が減少、両事業合計で約1億7,000万円収支が改善している。 収益については、計画と比べ、両事業合計で約6,000万円の増、費用については、計画と比べ、両事業合計で約1億1,200万円の減となっている。
委員	収益の増加はコロナ禍からの回復という面もあると思うが、費用面では人件費の減が大きいのか。
事務局	自動車運送事業の抜本的見直しに伴い、削減した人件費が影響しているものと考えている。
委員	主な事業のうち、渡り線その他分岐器更换事業について、令和4年度予算と比較して大幅に変更となった理由は何か。
事務局	渡り線その他分岐器更换事業については、令和3年度の工事を令和4年度に繰り越したため、決算額が増加している。

会次第3-(2) 令和5年度市電・市バス乗車実績等(4月～9月・速報)

発言者等	質疑・回答等
	(質疑なし)

会次第3-(3) 令和5年6月以降の主なトピックス

発言者等	質疑・回答等
委員	市バスの運賃改定から1ヶ月経つが、利用者から何か声があがっているか。
事務局	値上げによる負担が大きいとの声が数件あったが、ほとんどは単純な問合せであり、(苦情もなく)乗継割引の拡充や定期券の全線化による利便性の向上の効果だと考えている。

発言者等	質疑・回答等
委員	市バスの運賃改定について、交通局全体でみると電車の収益で補填をしていると思っている。電車運賃が安いというイメージがあるが、電車運賃を上げないのか。システム改修等で費用はかかると思うが、将来的に検討しないのか。
事務局	電車運賃が安いというご意見については、いろいろご意見をいただくこともあるが、運賃改定には運輸局の認可等が必要であり、適切な費用と適切な利潤に基づく運賃でなければ認可は難しく、市電が黒字であることも含めて、ご理解いただきたい。
委員	市電の敬老パス利用料金が50円であるが、厳しい経営状況であるので、将来的に値上げを検討することはないか。
事務局	敬老パスの料金については、鹿児島市の高齢者福祉施策であるので、1/3の負担を制度の枠組みとして市で定めている。市からは負担金をもらい、交通局は事業者として差額を負担している。市全体の高齢者福祉制度の取扱いによるので、ご理解いただきたい。
委員	(資料2の)運輸収益については、敬老パスの本人負担分50円が積み重なった数値ということか。
事務局	お質しのとおり、本人負担分が含まれ、市の負担分は含まれていない。
委員	国体おもてなしラピカについては、今後発売を進めていくのか。
事務局	交通局の乗車券販売窓口で販売しており、イベント等での販売も含めて、今後も販売を進めていく予定である。
委員	プラチナ賞受賞について、乗務員に毎年運転記録証明書を提出いただいているのか。
事務局	お質しのとおり。
委員	運転士のプライベートな運転も評価されているということか。
事務局	おっしゃるとおり。
委員	(優秀安全運転事業所表彰の)公募された件数は把握しているか。
事務局	総申請数は把握していないが、対象はバス事業者のみではなく、配送業者等他業種も対象となっている。プラチナ賞を受賞した事業者は約200社あったとのことである。
委員	全国の公営交通事業者の中では、鹿児島市交通局のみがプラチナ賞を受賞したということによいか。
事務局	おっしゃるとおり。

その他

発言者等	協議事項・質疑・回答等
委員	電車・バスの令和5年度の事故の状況はどうか。
事務局	バスの事故状況は、令和5年8月末現在で合計8件である。そのうち、交通局の過失割合が50%以上の有責事故が3件となっている。 電車の事故状況は、令和5年9月末現在で合計23件である。そのうち、(軌道敷内は電車優先であるが)交通局に少しでも過失があった事故は13件となっている。
委員	先日、軌道上で立ち往生をしている高齢者の方を見たが、どのように対応しているか。
事務局	原則、車両を停めて待つという対応になり、減速するように指導している。
委員	コミュニティ協議会の中でバスの現状が話題になった。 乗合タクシー、ライドシェアが話題になったりしているが、高齢者は交通政策としてどんな方法があるかもわからないので、周知の方法を考えていただきたい。 市民の皆様に厳しい経営状況について情報提供を行い、現状への理解を深めていただいて、今後公共交通を整えて維持していくために、市全体として手立てを考えていただきたい。